

2023(令和 5)年度

日本東洋医学会

滋賀県学術講演会

テーマ「基本に帰ろう」

講演要旨集

現地開催 2023 年 12 月 17 日(日曜日)

一般社団法人 日本東洋医学会 滋賀県部会

2023(令和 5)年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会

あいさつ

会 長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

お忙しい中、滋賀県部会学術講演会に出席していただきありがとうございます。
2020年にホテル テトラ大津・京都会場にて滋賀県学術講演会を開催して3年ぶりに対面での開催になりました。皆様方の東洋医学的診療の一助になればと思います。

本日のテーマは「基本に帰ろう」です。

患者さんが診察室に入ってこられる様子を見た後、患者さんと会話し、患者さんが診察室を出られるまでの間、我々は自然と「視診」「聞診」「問診」「切診」をしています。今までの経験に基づいて、患者さんの生い立ち、今までの生活や心情、現在の生活や心境・心情、学業・仕事の状況を想像し、「病の所在や陰陽虚实と気血水」を考え、漢方医学的な四診に随って薬方や治療方針を決め、数週間後、患者さんと再会します。皆様方は、このような東洋医学的診察を通じて、「東洋医学的な診察の大切さ」を実感しておられると思います。

本日は、滋賀県学術講演会にご参加の皆様方に満足していただけるよう、講演を拝聴するだけでなく、活発な質疑と討論をしていただくことを基本とし、講演予定時間 50 分、質疑応答時間 10 分で、漢方薬や鍼灸の講演をお聞きください。

教育講演は「便秘の漢方薬」の演題で高橋 健太郎先生にさせていただきます。

特別講演Ⅰは、「漢方薬の効果向上を目指した鍼灸治療併用の工夫(手の太陰肺経)」の演題で、西村 尚記先生にさせていただきます。

特別講演Ⅱは、「傷寒論、実用編。実際は、こんな使い方をしている」の演題で、田中 秀一 先生にさせていただきます。

時間の許す限り、3人の先生方のお話に耳を傾け、明日からの診療にお役立てください。

2023(令和 5)年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会 開催概要

会 期 2023 年 12 月 17 日(日)9 時～12 時 30 分
会 場 滋賀医科大学講義室 3 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
会 長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

参加受付 登録期間 2023 年 10 月 7 日～12 月 17 日午前 9 時 30 分

学会本部 Web マナブル <https://jsom.manaable.com/>

参加登録費 3,000 円(学生無料)(参加費は非課税)

講演要旨集 関西支部会員宛への講演要旨集の事前発送、および参加者への冊子配布はございません。

関西支部ホームページからダウンロード可能です。

関西支部ホームページ:<https://www.kansaikampo.jp/web/>

専門医・認定医単位・点数 10 点、受験単位 1 単位(現地参加者のみ)

出席点、発表点共に学術講演会終了後、記録をもとに事務局が登録いたしますが、万一登録されなかった場合に備えて参加費の領収書を必ずお手元に保管しておいてください。領収書は参加登録システムログイン後の「メインメニュー」にてダウンロードが可能です。

日本医師会生涯教育単位 3 単位(自己申告してください)

申込方法

<https://jsom.manaable.com/>から日本東洋医学会のホームページの「研修一覧検索 & 研修申込サイト manaable」に入ってください。

Manaable を初めてご利用される方は、新規ユーザー登録が必要になります。

日本東洋医学会研修申込サイト トップページ画面左側の「ログイン・新規登録」をクリックし、画面の案内に従って、登録を済ませてください。

日本東洋医学会会員はもちろん、会員以外でも参加できます。

事務局 : 〒520-0814 滋賀県大津市本丸町3-5

西村整形外科医院 西村 尚記

TEL: 077-522-9737

E-mail ; rsg08124@nifty.com

滋賀県学術講演会会場

■大学の位置



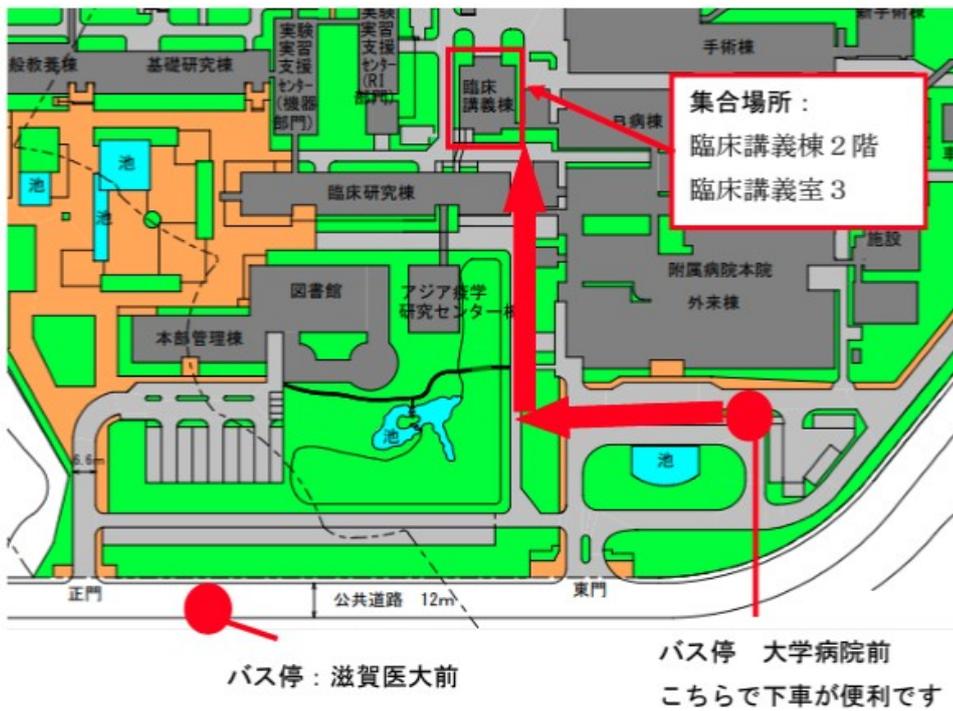
● JR 東海道本線(琵琶湖線)の「瀬田」駅で下車。瀬田駅から「滋賀医大」行きのバスに乗車「大学病院前」で下車。

※ JR 瀬田駅には新快速は止まりません。快速または各駅停車をご利用ください。また、京都駅では琵琶湖線と湖西線とお間違えないようにご注意ください。





■大学構内の地図



バス停 大学病院前
こちらで下車が便利です

プログラム

会 長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

開会の辞 9:00～9:05

会 長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

教育講演 9:05～10:05

座長 中西 美保(滋賀医科大学麻酔学講座)

便秘の漢方薬

高橋 健太郎(滋賀医科大学医学部附属病院 漢方外来)

質疑応答 9:55～10:05

休憩 10:05～10:15

特別講演 I 10:15～11:15

座長 祐森 泰郎(祐森クリニック)

漢方薬の効果向上を目指した鍼灸治療併用の工夫(手の太陰肺経)

西村 尚記(西村整形外科医院 院長)

質疑応答 11:05～11:15

休憩 11:15～11:25

特別講演 II 11:25～12:25

座長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

傷寒論、実用編。実際は、こんな使い方をしている

田中 秀一(医療法人 田中医院)

質疑応答 12:15～12:25

閉会の辞 12:25～12:30

会 長 浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)

教育講演

便秘と漢方薬

滋賀医科大学医学部附属病院 漢方外来

高橋 健太郎

便秘は慢性便秘症診療ガイドライン 2017 によると「便秘」とは“本来体外に排出すべき便を十分量かつ快適に排出できない状態”と定義されており、単に排便回数が少ないだけではなく、排便困難感や残便感といった他の便秘症状の合併で「便秘症」となる。また、排便回数が十分にあっても排便困難感や残便感などの便排出障害の症状があれば「便秘症」と診断され、その状態が6か月以上前から生じ、少なくとも最近3か月間はその状態が続いていれば「慢性便秘症」である。この「便秘」の漢方薬は「冷え」や「風邪」と並んで漢方薬の方が西洋薬よりも治療効果が勝っていると思われる薬の1つである。便秘治療のゴールはただ単に便が出ればよいという訳ではなく、気持ち良く、定期的に便通があることである。そこで、証による瀉下剤（瀉下効果により、燥屎や宿食を下す）の適切な選択が必要となってくる。実証には大黄+芒硝を含む承気湯類を主として用いる。その効果は大黄の主成分であるセンノシドAが腸内細菌により瀉下活性物質であるレインアンスロンに代謝されることによる。しかし、腸内細菌は個人差があり、レインアンスロン代謝量に個人差が生じる。大黄1gあたり3mgのセンノシドAを含んでおり、プルゼニド[®] 1錠（12mg）＝大黄甘草湯 3包であり、大黄甘草湯の1日量がプルゼニド[®] 1錠に相当する。実証には大承気湯、調胃承気湯、大黄甘草湯、大黄牡丹皮湯、桃核承気湯、通導散、防風通聖散が用いられ、虚証には麻子仁丸、潤腸湯、桂枝加芍薬大黄湯が用いられる。極虚証には、大建中湯が用いられる。さらに大建中湯には小児の慢性機能的便秘やパーキンソン症候群の便秘、長期抗精神薬服用患者の便秘、モルヒネ服用患者の便秘等の有用性が報告されており、その消化管運動亢進作用や腸管血流増加作用の機序も解明されつつある。

本教育講演では証による漢方方剤の選択について解説する。



略歴

- 氏名：高橋 健太郎(たかはし けんたろう) 昭和 27 年 2 月 26 日生
本籍地：大分県国東市武蔵町古市 645 番地
現住所：滋賀県大津市松本 2 丁目 8 番 19 号
- 昭和 53 年 03 月 鳥取大学医学部医学科卒業
昭和 57 年 03 月 鳥取大学大学院医学研究科修了、医学博士学位授与
昭和 57 年 04 月 平田市立病院産婦人科医長
昭和 58 年 04 月 島根医科大学助手（産科婦人科学講座）
昭和 60 年 10 月 島根医科大学講師（産科婦人科学講座）
平成 02 年 09 月 ナイメーヘン・カソリック大学（オランダ）にリサーチフェローとして留学
平成 06 年 10 月 島根医科大学医学部助教授（産科婦人科学講座）
平成 15 年 10 月 島根大学医学部助教授（産科婦人科学講座）
平成 16 年 04 月 滋賀医科大学医学部助教授（産科学婦人科学講座）
平成 18 年 10 月 滋賀医科大学医学部附属病院女性診療科科長
平成 19 年 04 月 滋賀医科大学医学部准教授（産科学婦人科学講座）
平成 19 年 09 月 滋賀医科大学医学部特任教授（地域医療システム学講座）
平成 22 年 04 月 滋賀医科大学医学部特任教授（地域周産期医療学講座）
平成 27 年 10 月 聖泉大学看護学部別科助産専攻非常勤講師（母子保健政策論）
平成 28 年 04 月 滋賀医科大学医学部附属病院特任教授（総合周産期母子医療センター）
平成 28 年 04 月 立命館大学薬学部授業担当講師（漢方医療学）
平成 28 年 04 月 滋賀県医師キャリアサポートセンター（滋賀県地域医療支援センター）専任医師（兼務）
平成 29 年 03 月 滋賀医科大学定年退職
平成 29 年 04 月 滋賀医科大学医学部附属病院特任教授（総合周産期母子医療センター）
平成 29 年 04 月 滋賀県医師キャリアサポートセンター（滋賀県地域医療支援センター）専任医師（兼務）
平成 29 年 10 月 滋賀県堅田看護専門学校非常勤講師（母性看護学援助論）
平成 30 年 04 月 京都橘大学特別兼任教授健康科学部臨床検査学科（医学概論）
平成 30 年 04 月 京都橘大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）特別兼

任教授

平成 31 年 09 月 光華女子大学健康科学部看護学科助産学専攻科非常勤講師

令和 02 年 04 月 滋賀医科大学医学部客員教授（産科学婦人科学講座）

令和 02 年 04 月 日野記念病院顧問（婦人科）

現在に至る

- 専門分野
1. 日生殖内分泌学
 2. 婦人科腫瘍学、細胞診断学
 3. 産婦人科内視鏡学
 4. 産科医療問題
 5. 思春期医療問題
 6. 医療安全

学会役職等

日本婦人科がん検診学会理事

日本女性医学会評議員

日本性感染症学会代議員

日本東洋医学会代議員

日本思春期学会名誉会員

日本女性心身医学会名誉会員

日本産婦人科内視鏡学会名誉会員

日本産婦人科乳腺医学会名誉会員

日本産科婦人科学会功労会員

日本臨床細胞学会功労会員

日本内分泌学会功労評議員

日本生殖医学会功労会員

日本受精着床学会功労会員

日本妊娠高血圧学会功労会員

日本婦人科腫瘍学会功会員

日本卵子学会功労会員

近畿産科婦人科学会名誉会員

日本臨床細胞学会近畿連合会理事

滋賀県臨床細胞学会会長

滋賀県母性衛生学会会長

滋賀県思春期教育研究会会長

滋賀県産科婦人科医会名誉会員

滋賀県周産期医療等協議会委員長

滋賀県がん検診検討会子宮がん部会委員長

滋賀県周産期医療検討部会部会長

滋賀産業保健推進センター産業保健特別相談員

滋賀県社会保険診療報酬請求書審査委员会主任審査委員、審査調整役

滋賀県国民健康保険審査会審査会長

滋賀県国民健康保険運営協議会委員

滋賀県医療審議会委員
滋賀県薬事審議会委員
滋賀県社会福祉審議会委員
滋賀県がん対策推進協議会会長
滋賀県がん対策推進運動実行委員会委員長
滋賀県医師会副会長
日本医師会代議員
日本医師会国際保健検討委員会委員
滋賀県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員長
滋賀県医師会医療事故調査支援委員会委員長
滋賀県医師会剖検・Ai システム運営委員会委員長
滋賀県医師会自浄作用活性化委員会・診療情報開示苦情処理委員会委員長
滋賀県医師会医事紛争処理委員会委員長

資格

日本専門医機構認定産婦人科専門医
日本産科婦人科学会認定産婦人科指導医
日本臨床細胞学会認定細胞診専門医・教育研修指導医
日本東洋医学会認定漢方専門医・指導医
日本超音波医学会認定超音波専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会功労技術認定医
日本生殖医学会認定生殖医療専門医
日本婦人科腫瘍学会認定婦人科腫瘍専門医・指導医
日本内分泌学会認定内分泌代謝科（産婦人科）専門医・指導医
日本周産期・新生児学会認定新生児蘇生法「専門」コース インストラクター
がん治療認定医
日本女性心身医学会認定医
日本女性心身医学会認定更年期指導士
日本思春期学会認定性教育認定講師
日本思春期学会思春期学研究認定者
日本医師会認定産業医

特別講演 I

漢方薬の効果向上を目指した鍼灸治療併用の工夫(手の太陰肺経)

西村整形外科医院 院長

西村 尚記

当院での外来診療においては、主に漢方薬に鍼灸治療を併用している。鍼灸治療に用いる経穴の多くは体表を流れる経絡上に存在する。主に用いる経絡は正経十二経絡に任脈、督脈を合わせた十四経絡である。

今回、このうち手の太陰肺経を使用した臨床経験について示したい。

多くは、呼吸器系の症状に対して使用する経絡であるが、腰痛症や花粉症等他の領域の疾患についても用いる事がある。

又、どのような疾患においても鍼灸治療は抜群の効果が得られることが多く、その魅力も感じていただきたい。

略歴

平成元年東海大学医学部卒業

同年から東海大学医学部附属病院勤務、整形外科入局

平成4年から東海大学医学部大磯病院整形外科勤務

平成5年から静岡県立浜岡総合病院整形外科勤務

平成6年から横浜新緑病院整形外科勤務

平成11年から二川病院整形外科勤務、同院整形外科部長、同院副院長

平成20年から西村整形外科医院開業(継承)、現在に至る

特別講演 II

傷寒論、実用編。実際は、こんな使い方をしている

医療法人 田中医院

田中 秀一

1. 色々な傷寒論の話。宋以前傷寒論考から、我々が読み慣れた宋版傷寒論、以前、以外の傷寒論について学ぶ。

張仲景の著した傷寒論は現存していない。我々が三陽三陰で理解する傷寒論は、宋時代に改変を受けたものである。宋改により、傷寒論の治療法は大きく変遷している。宋版に基づいた現在の治療を引っくり返す訳には行かないが、何故、そうなったのかは知っておくべきだろうと思う。

2. 傷寒論は、外感熱病の識別と治法のみを論じた専門書と言う見方と、傷寒一病をのみでは無く、傷寒を取り上げることにより疾病一般を論じたものとする見方が有ると、中国傷寒論解説には書かれている。(大切)

さらに、中国傷寒論解説は、六経と五臓六腑を連携させる。傷寒論の本質の陰陽論から出た六経により「時間」を、六経に紐付けた五臓論(臓腑弁証)により、「空間」を、認識する事が出来、両者の組み合わせは、疾病の「いま」の時間的、空間的座標を、特定する。このシステム論は、外感病のみでは無く、雑病にまで傷寒論の叡智を拓けられる。僕の意識の底に常在するに至った、この手法により、実際の症例を解析する。

3. 古方は、見証(症状)を方剤に直接結び付ける。よって、理論は存在し得ない。しかし、口訣は多くなる。

古方のテキストとして、細野史郎先生の臨床傷寒論から、幾つかの口訣を学び、昭和初期の臨床では、白虎(加人参)湯、大承気湯(陽明病)と、真武湯、茯苓四逆湯(厥陰)の鑑別が生死を分けた実状を知る。

4. 六経のうちでは、陽明病と、陰病(特に、少陰病から至る厥陰病)が、命に関わる事も有る危険な時期である。白虎加人参湯の条文が、傷寒論内の、太陽病下篇、陽明病篇、厥陰病篇に存在する。それぞれの意味合いを考える。

略歴

1983年 関西医科大学卒。放射線科入局。放射線科専門医。

1993年 漢方三考塾で漢方を知る。

以来、あらゆるセミナーに出没する。本籍は三谷和男先生門下。

遊漢方臨床談話会所属。古方家。でも中医学も好き。

医療法人、田中医院、理事長、院長(医師ひとりにて)

東洋医学会 奈良県支部長。日本中医薬学会 評議員。

何でも聞いてね。

2023(令和 5)年度 日本東洋医学会 滋賀県学術講演会 準備委員

会 長	浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)
実行委員長	中西 美保(滋賀医科大学麻醉学講座)
事務局長	西村 尚記(西村整形外科医院)
実行委員	祐森 泰郎(祐森クリニック)
	高橋 健太郎(滋賀医科大学医学部附属病院 漢方外来)
会 計	浮田 徹也(医療法人 浮田クリニック)
	(敬称略 順不同)